

# 城南地区まちづくり計画

平成22年度～平成26年度



ふれ愛のまちみなみをつくる会  
(城南コミュニティ)

## 目次

### 第1章 城南地区の現状

1	位置、気候	2
2	概況	2
3	人口の推移	3～4
4	公共施設、準公共施設	5
5	福祉施設、医療機関	5～6
6	ため池、公園、神社	6
7	文化財	6
8	コミュニティの組織	7

### 第2章 まちづくり計画

1	まちづくりの視点考え方	8
2	計画期間	8
3	計画事業	
(1)	安全と安心のあるまち	9～10
(2)	美しく潤いのあるまち	11
(3)	賑わいと文化のあるまち	12

### 第3章 計画策定資料

13

## 第1章 城南地区の現状

### 1 位置、気候

城南地区は、はるか南に阿讃山脈を望み、北には丸亀城を、そして、その向うには、瀬戸内海を望み、西には金倉川を、東には土器川を望む、まさしく讃岐平野の田園地帯中央部の海岸よりにある。

気候風土は、温暖にして、災害も少なく、穏やかである。

ただ、雨が少ないため、ため池が多く造られ、水には昔より苦勞をしてきた。

### 2 概況

昔の田園風景が随分少なくなり、団地、マンション、アパート、新興住宅などの住宅地が増え、人口は著しく増えてきた。

また、地区内の主要道路の沿線には、スーパーや大型店舗が進出し、賑やかになってきた。

### 3 人口の推移

平成20年10月1日現在

区分	城南地域		丸亀市		香川県	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
年少人口	1,096	16.2%	16,936	15.1%	13,7011	13.7%
生産人口	4,263	63.0%	70,727	63.2%	617,044	61.5%
老年人口	1,411	20.8%	24,263	21.7%	248,949	24.8%
合計	6,770	100.0%	111,926	100.0%	1,003,004	100.0%

(注) 年少人口とは0歳～14歳までをいう。  
 生産人口とは、15歳～64歳までをいう。  
 老年人口とは、65歳以上をいう。

#### 人口

国勢調査年 町別	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
田村町	1,936	2,476	2,694	2,633	2,899	3,029	3,231	3,531
山北町	940	1,264	1,673	2,021	1,937	2,014	2,067	2,145
柞原町	1,491	1,689	1,925	1,924	1,950	1,890	1,799	1,824
原田町	570	1,495	1,514	739	697	722	825	839
原田団地				794	674	595	416	365
合計	4,937	6,924	7,806	8,111	8,103	8,250	8,338	8,704

## 世帯数

国勢調査 年 町別	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
田村町	541	708	766	787	951	1,037	1,184	1,462
山北町	269	371	491	623	671	755	802	833
柞原町	248	315	329	338	391	402	396	448
原田町	155	450	440	207	200	307	307	316
原田団地				229	231	224	211	207
合計	1,213	1,844	2,026	2,184	2,444	2,725	2,900	3,266

(注) 原田団地は昭和55年11月1日住居表示により原田町から分離

城南地区の人口は、近年著しく増加してきている。

また、高齢化の進行は、市や県に比べ、比較的緩やかだが着実に進行しつつある。

## 4 公共施設、準公共施設

### (1) 公共施設

- 丸亀市立城南小学校 (田村町)
- 丸亀市立城南保育所 (山北町)
- 丸亀市立原田保育所 (原田町)
- 丸亀警察署田村交番 (田村町)
- 丸亀市城南コミュニティセンター (山北町)
- 丸亀市消防団第6分団屯所 (山北町)
- 消防団機械・器具置場 (田村町・原田町)
- ボートピアまるがめ (原田町)
- 県立丸亀競技場 (原田町)

### (2) 準公共施設

- JA 香川県城南支店 (田村町)
- 丸亀城南虎岳幼稚園 (田村町)
- 虎岳保育園 (田村町)
- 丸亀城南郵便局 (柞原町)

## 5 福祉施設、医療機関

### (1) 福祉施設

- 児童養護施設 亀山学園 (柞原町)
- 介護老人保健施設 福寿荘 (柞原町)
- 地域活動支援センター はなぞの (柞原町)
- 相談支援事業所 はなぞの (柞原町)
- 生活訓練施設 花園荘 (柞原町)
- 障害者就業・生活支援センター くばら (柞原町)

### (2) 医療機関

#### ア 病院

- 三船病院 (柞原町)

#### イ 医院など

- おおつか内科医院 (山北町)
- おかだ小児クリニック (柞原町)

岸川脳外科医院 (柞原町)  
 岸本内科 (柞原町)  
 武岡皮膚科クリニック (原田町)  
 はやしクリニック (柞原町)  
 藤本耳鼻咽喉科医院 (柞原町)

#### ウ 歯科

アズマ歯科クリニック (田村町)  
 いまい歯科クリニック (柞原町)  
 きしもと歯科医院 (柞原町)

## 6 ため池、公園、神社

### (1) ため池

田村池 (田村町)	堤長	1,560m	貯水量	358 千 t
太井池 (田村町)	〃	954m	〃	53 千 t
馬池 (柞原町)	〃	800m	〃	108 千 t
新池 (山北町)	〃	108m	〃	6 千 t
庄ノ池 (郡家町)	〃	約 950m	〃	53 千 t
近隣 蓮池 (中府町)	堤長	600m	貯水量	33 千 t
先代池 (金倉町)	〃	922m	〃	326 千 t

### (2) 公園

近隣 蓮池公園  
 近隣 丸亀市総合運動公園(丸亀市民体育館)

### (3) 神社

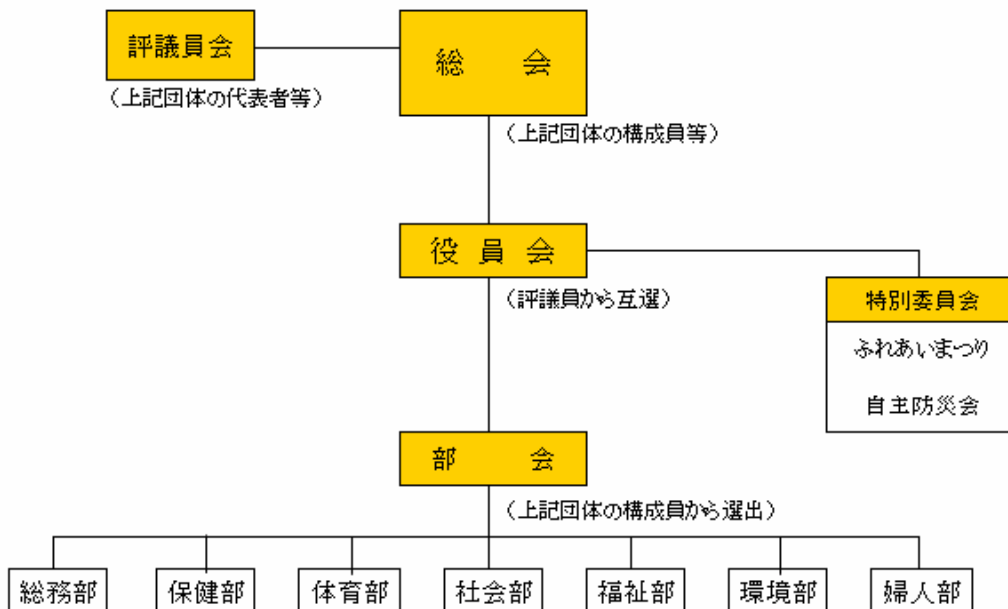
田村天満宮 (田村町)  
 三十番神 (田村町)  
 高幢神社 (柞原町)  
 林の宮 (柞原町)  
 山北八幡宮 (山北町)  
 三分一天満宮 (原田町)

## 7 文化財

山北神社奉納京極侯参勤交代御船揃絵馬(香川県指定有形民俗文化財)

## 8 コミュニティの組織

城南地区の住民			
・連合自治会	・老人クラブ連合会	・民生児童委員協議会	・福祉ママ会議
・体協城南支部	・消防第6分団	・食生活改善推進連絡協議会	・環境美化推進員
・母子愛育班	・城南小学校PTA	・城南保育所保護者会	
・原田保育所保護者会	・虎岳幼稚園PTA	・虎岳保育園保護者会	
・城南校区子供会	・コミュニティセンター	・学識経験者	



~~~~~

| 役員会  |     |
|------|-----|
| 会 長  | 1名  |
| 副会長  | 若干名 |
| 事務局長 | 1名  |
| 会 計  | 1名  |
| 書 記  | 1名  |
| 監 事  | 2名  |
| 幹 事  | 若干名 |
| 顧 問  | 若干名 |

| 部 会 |    |
|-----|----|
| 部 長 | 1名 |
| 副部長 | 1名 |
| 書 記 | 1名 |



## 第2章 まちづくり計画

### 1 まちづくりの視点考え方

城南地区の人口は、ずっと右肩上がりに増加している。

また、地区内では、田園風景が減り、主要道路の沿線にはスーパーや大型店舗などができるとともに、団地や新興住宅などの住宅地が増え、賑やかになってきた。

その結果、住民の意識も変わり、自治会に加入する人が減り、従来型の交流が薄れつつあり、また一方高齢化も進んでいる。

このようなことで、近年、災害、防犯、環境などに係わる諸問題への対応は、住民相互の助け合いが強く求められています。

現在、城南地区のコミュニティは、「ふれ愛みなみ」と銘打ち、人と人とのふれあいを大切にし、地域ボランティアを育てたいと考えている。

そこで、城南地区のまちづくりの基本的な視点として、まず、住民の方々が、安全で、安心して暮らせるよう環境を整えていくことが大切だと考え、1つ目の柱とした。

次に、安全安心だけでは、心豊かに生きがいを持てる暮らしに繋がらないと考え、生活環境を整えるだけでなく、人々の内面などが美しく、また、人と人との交流に潤いのある町を創ろうと美しく潤いのある町を2つ目の柱とした。

最後に、活気のある元気なまちを目指すことが将来に繋がると考え、3つ目の柱として、賑わいと文化のあるまちとした。

もちろん、城南地区には、さまざま、豊かな自然や歴史文化がある。

また、すでにコミュニティが取り組んでいる事業や地域の祭りなどの行事がたくさんある。

これらをこの計画の中で再構築し、もっと発展するようにするとともに、新たな事業・行事を加え、城南地区のまちづくり計画といたしたい。

### 2 計画期間

この計画の期間としては、平成22年度から平成26年度までの5年間とし、計画した事業や行事の成果を検証し、より優れた計画へ変更することが容易で、かつ、新たな取り組みが柔軟に加えられますように取り組んでいきます。

### 3 計画事業

#### (1) 安全と安心のあるまち

##### ア 防災

自主防災会を中心に、地震や風水害などの災害をできるだけ少なくするため訓練を繰り返すとともに、住民相互の連絡網や障害者、高齢者などの弱者に対する対策を講じる。

また、住民一人ひとりに自分の身は自分で守る意識を醸成し、隣近所の人たちとの助け合い組織の構築、家族との連絡の確認、持ち出し品の整理、災害用の備品を準備するなど防災意識を高める。

ふだんから隣近所の人たちなど地域住民相互の「ふれ愛」を深め、いざというときに助け合うことができるよう善意の井戸の所在、避難困難者の所在確認などの情報交換や体制作りに務める。

##### 事業

- |                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 地域全体の防災訓練</li><li>② 非常時の連絡網の整備</li><li>③ 災害時の弱点箇所の点検と避難所に置ける用具などの備蓄</li><li>④ 防災意識の高揚と避難場所の確認の呼びかけ周知</li><li>⑤ 「ふれ愛活動」の推進</li><li>⑥ 自治会未加入者への加入推進活動</li></ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

##### イ 防犯

児童生徒の安全を守り、非行を防止するため、安全パトロールに参加し、通学路の安全性を確保し、無理のない組織として継続するとともに、地域の人々や企業などにも積極的に見守りや、声かけをお願いする。

また、夜道の安全・安心を確保するため、防犯灯の設置を各自治会に呼びかける。

ふだんから気軽に隣近所の人たちなどに挨拶できるよう心がけ、人々との「ふれ愛」を大切にする運動を展開する。

##### 事業

- |                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 安全パトロールの実施</li><li>② 防犯灯などの設置呼びかけ</li><li>③ 「ふれ愛」活動の推進</li></ul> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ウ 環境

城南地区内は、近年都市計画の変更や急激な宅地開発などにより、車、バイク、自転車、人などの通行が著しく増加し、交通渋滞や事故が頻繁に発生している。

当面の課題として道路の整備が必要だと感じている。

また、城南小学校では児童数の増加により教室数の不足や狭い運動場に支障が生じている。学校用地の拡張整備を強く望むところである。

そこで、安心な水、安全な道路など生活を取り巻く環境と将来有る子ども達の教育環境を整えるよう行政と連携を深めるとともに住民一人ひとりの行動と協力が得られるよう務めていく。

自然環境を大切に守り、空気、水の浄化活動や教育活動を行う。

自然が多く残されているため池、特にガマ、マコモ、ヨシなどが自生し、野鳥が多く飛来生息する太井池は、野鳥の池公園として親しまれている。田村池の堤には、多くの住民が散歩を楽しんでいるが、現在、白鳥も飛来し長く生息している。新池では、水の浄化事業が行われている。これらのため池を大切に守る活動を続けていく。

多くの住民が集い運動や憩いの場所として活用できる公園は、非常に大切なものだと考えている。城南地区内には、残念ながら、公園がないので、ぜひ設置できるよう要望活動を行う。

## 事業

- ① 生活道路、通学路の整備推進（水利組合とも協議しながら水路に蓋かけをするなどして道路の拡張整備を行う。）
- ② 小学校用地の拡張整備（児童数の増加を考慮し、関係機関と協議を行う。）
- ③ 水の浄化活動の推進（自然環境を大切にすることを養う。）
- ④ 自然環境を大切にする生涯教育の推進（地域環境の発見と自然教育の推進を行なう。）
- ⑤ 公園設置の要望活動（候補地：山北市営住宅跡地、学校給食センター跡地における憩いの場づくりの提言を行なう。）

## (2) 美しく潤いのあるまち

### ア まちの美化

まちを清潔で美しくすることは、住民の生活を快適にするだけでなく、心に潤いをもたらす。

そこで、従来からある、親子クリーン作戦のほか、月に一度の地域一斉清掃日を設け、地域住民の協力のもと、自宅周辺道路の清掃や公共施設などの清掃を行う。

また、花いっぱい運動を展開し、空き地や耕作放棄田などには花を咲かせて潤いのあるまちづくりを展開する。

#### 事業

- |                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 親子クリーン作戦の実施</li><li>② 地域一斉清掃活動の実施</li><li>③ 花いっぱい運動の実施、非常時の連絡網の整備</li></ol> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### イ 高齢者などの支援

お年寄りや障害者などへの支援活動は、お年寄りなどの方々への励ましだけでなく、「ごみ出し互助支援」などの具体的な支援活動が地域住民の結束や心の豊かさ、潤いに繋がる。

これまでの事業や行事を続けるとともに「ふれ愛」活動の輪が広がるよう努める。

#### 事業

- |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 福祉施設訪問活動（福寿荘、亀山学園、うぶすな園など、）</li><li>② 高齢者訪問（寝たきり老人、独居老人、節目の年齢到達者など）敬老行事の実施</li><li>③ 日赤社資募集の実施（5月）</li><li>④ 赤い羽根共同募金活動の協力（10月）</li><li>⑤ 歳末助け合い運動の協力（12月）</li><li>⑥ 「ふれ愛」活動の推進</li><li>⑦ たまり場活動</li></ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### (3) 賑わいと文化のあるまち

#### ア 賑わいの創造

まちが活気にあふれ、人々が健康で元気に生活することは、非常に大切なことである。

そこで、コミュニティセンターを交流や活動の拠点として利用しながら積極的に住民の健康を守り、賑わいを創設する事業や行事を推進する。

#### 事業

|   |              |       |
|---|--------------|-------|
| ① | ふれあい祭りの開催    | (11月) |
| ② | 夏祭りの開催       | (8月)  |
| ③ | 町民体育祭の開催     | (6月)  |
| ④ | 町民スポレク大会の開催  | (7月)  |
| ⑤ | 町民スポーツ大会の開催  | (3月)  |
| ⑥ | 歩け歩け運動の推進    |       |
| ⑦ | 親子料理教室の実施    |       |
| ⑧ | 初日の出を迎える会の開催 | (1月)  |
| ⑨ | いきいき講座の実施    | (毎月)  |

#### イ 文化の継承と創造

文化の継承は、現代に生きるわれわれが、先人たちの息吹に触れ、生活を豊かに楽しませてくれるだけでなく、先人たちが残してくれた宝物を次の世代に引き継ぐという大切な仕事である。

地区内には、様々な文化遺産があるが特に金比羅参りの旅人が歩いた金比羅街道には道標を兼ねた灯籠や石標などが残っており往時を偲ぶことができる。

我々は、先人たちの文化をさらに発展させたり、新たな文化を創ることが、やりがいのある大切な仕事だと考える。

いままでの事業や行事を大切にするとともに文化の創造を支援する。

#### 事業

|   |                |         |
|---|----------------|---------|
| ① | 郷土料理伝承事業の実施    | (1月、7月) |
| ② | 八朔団子馬作りの開催     | (9月)    |
| ③ | 獅子舞など伝統文化の継承支援 |         |

### 第3章 計画策定資料

#### 1 城南地区まちづくり計画策定経過

|                   |                                              |
|-------------------|----------------------------------------------|
| 平成 21 年 8 月 1 日   | 8月号のコミュニティ紙において、城南地区まちづくり計画策定に当り、広く住民の意見を求める |
| 平成 21 年 8 月 4 日   | 策定委員会発足<br>第1回策定委員会において、骨子について協議             |
| 平成 21 年 9 月 8 日   | 第2回策定委員会において、原案審議                            |
| 平成 21 年 10 月 20 日 | 第3回策定委員会において、原案審議                            |
| 平成 21 年 12 月 1 日  | 第4回策定委員会において、原案審議                            |
| 平成 22 年 2 月 5 日   | 第5回策定委員会において、原案審議                            |
| 平成 22 年 3 月 24 日  | 第6回策定委員会において、原案審議                            |
| 平成 22 年 4 月 23 日  | 第7回策定委員会において、原案最終調整                          |
| 平成 22 年 5 月 20 日  | コミュニティ役員会において、まちづくり策定結果報告                    |
| 平成 22 年 6 月       | 計画書印刷                                        |
| 平成 22 年 7 月       | 地域住民に周知                                      |

#### 2 城南地区まちづくり計画策定委員会名簿

| 氏 名     | 所 属           | 備 考   |
|---------|---------------|-------|
| 窪 田 國 夫 | 連合自治会会長       |       |
| 坂 田 久 男 | 連合自治会副会長      |       |
| 直 江 安 俊 | 学識経験者         |       |
| 平 尾 義 一 | 学識経験者         |       |
| 五百森 信 幸 | 消防第6分団長       |       |
| 大 岡 信 夫 | 前城南小学校 PTA 会長 |       |
| 田 中 俊 男 | コミュニティ顧問      |       |
| 山 野 チ エ | コミュニティ婦人部長    |       |
| 清 水 和 子 | 老人クラブ婦人部長     |       |
| 竹 内 敬一郎 | コミュニティセンター所長  | 事 務 局 |
| 氏 家 隆 司 | 前コミュニティセンター所長 | 〃     |
| 辻 野 敬 一 | コミュニティセンター事務員 | 〃     |

(順不同)

**城南地区まちづくり計画**

平成22年7月吉日

発行：城南コミュニティ

「ふれ愛の町みなみをつくる会」

**【事務局】** 丸亀市山北町200番地1

城南コミュニティセンター

TEL・FAX (0877) 24-0981